

「病院船」導入へ議連

月内に超党派で 既存船の改装提案

与野党の有志議員は月内に、災害時などに海上で患者を治療・運搬する「病院船」の導入を政府に働きかける議員連盟を

設立する。新型コロナウイルスを念頭に、体制整備を政
府に義務付ける法案をま
とめ、今国会での提出を
めざす。

名称は「災害医療船舶

利活用推進議連」で27日にも初会合を開く。額賀福志郎氏ら自民党議員のほか、立憲民主など与野党7党と無所属の議員が呼びかけ人となった。

多額の費用がかかる病院船の新造ではなく、既存の自衛艦やタンカー、フェリーを改装するなどして病院船として活用できるように検討する。

これまで額賀氏を会長とする与党議連で議論してきた。野党議員も参加できる超党派議連に衣替えし、今回の新型肺炎への対応を急ぐ。

自民党の衛藤征士郎氏も別の超党派議連「病院船建造推進議連」の会合を3月中旬に開く。7年ぶりの会合で、病院船の新造をめざし政府に対応を求める。既存船の改造に

よる導入を唱える額賀氏らとは考え方が異なる。

病院船を巡っては沿岸部の医療施設が被災した2011年の東日本大震災を機に導入の機運が高まった。政府内でも検討したが、建造コストが高く、平時の使い道が限られるといった指摘があり実現していない。